

北の木の家

わたしたちの家が、北海道の森を育む。

北海道の森林面積は、総面積の約70%。

豊かな森に恵まれた場所で私たちは暮らしています。
そしてその森のおかげで、澄んだ空気や水、豊かな土、
季節ごとの風景の美しさといった数々の恩恵を受けています。

北海道の森林の約30%は、植林によって生まれた人工林です。

人工林は下草刈りや間伐などが定期的に手入れをすることで、健全な森に育ちます。

また木には、木材としての適齢期があります。

時機が来たら伐って、使って、新たに植林することが
環境の維持につながるのです。

北海道にはこんなに豊かな森があるのですから、使わない手はありません。

地球温暖化や海外での森林伐採による環境破壊が深刻化する今、
北海道の木を使った家づくりを考えてみませんか？

家づくりでよく使う、北海道の木

トドマツ

道内の人工林の約50%を占める。加工性がよく北海道では昔から建築材として使われてきた。松脂は少ない。



スギ

古くから建築用材として使われてきた木。北海道では大半が道南地域で見られ、外装材としてよく用いられる。



カラマツ

道内の人工林の約30%を占める。木肌は赤みがかっていて、強度が高く油分が多いため、水に強い。



ミズナラ

道内に多く自生する広葉樹。木目が美しく施工性も良いため、家具材やフローリング材として人気が高い。



こんなところに、道産材！



外装材・エクステリア
(外壁・ウッドデッキ・木塀など)



構造材・内装材
(柱・梁・羽目板・フローリング・合板・室内ドア・木製サッシなど)



家具・什器
(テーブル・チェア・キャビネット・ソファ・キッチンカウンター・棚など)

「北の木の家」ってなに？

北海道産の木材を有効に活用してもらうため、北海道木材産業協同組合連合会(道木連)が品質の優れた道産木材を使った住まいを認定する制度。それが、「北の木の家」です。



「北の木の家」認定のための条件

- ① 産地証明制度により証明された、道内の森林から伐採された木材(以下「道産木材」)を使用していること。
- ② ①の道産木材は、全て合法性が証明されていること。
- ③ ①の道産木材の使用量が、延べ床面積1㎡あたり0.1㎡以上※であること。
- ④ ①の道産木材のうち、構造用材にあっては、JAS認定された構造用製材(含水率が20%以下のもの、もしくは防腐加工されたものに限る)、構造用集成材、又は構造用合板等を使用していること。

※ 木造軸組み在来住宅では平均的に、延べ床面積1㎡あたり0.18㎡の木材を使用。そのため「北の木の家」では、「総木材使用量の半分以上(0.18÷2≒0.1㎡/㎡)」が道産木材であることを条件としている

「北の木の家」認定に必要な書類

「北の木の家」の認証には、下記の書類が必要となります。プランニングの段階から、家づくりの依頼先である設計・施工会社に相談すると、手続きがスムーズです。

●ご提出いただく道産木材(木材製品)に関する書類

- ・納入伝票
- ・産地証明書
- ・合法証明書(納入伝票に合法性が記載されている場合もあります)
- ・製造工場のJAS認定証明書(柱や梁などの構造材のみ)
- ・含水率通知書・防腐加工通知書(無垢の構造材のみ)

●書類の郵送先

北海道木材産業協同組合連合会(道木連)
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目5番地1-2 道庁西ビル2F
TEL.011-251-0683

「北の木の家」推進事業者一覧

「北の木の家」は、一定の基準を満たす、木の関する豊かな知識と確かな技術のある設計・施工業者の手でつくられます。ぜひお気軽にご相談ください。

道北	企業名	所在地	電話番号	道東	企業名	所在地	電話番号	道南	企業名	所在地	電話番号	道央	企業名	所在地	電話番号
	(株)芦野組	旭川市	0166-65-7087		三九建設(株)	北見市	0157-42-2270		北海道ハウス(株)	函館市	0138-42-4141		三光建設(株)	岩見沢市	0126-22-1515
	(株)カワムラ	旭川市	0166-32-3231		(株)竹口組	北見市	0157-23-6438		田島緑地前川コルポラッション(株)	北斗市	0138-73-1223		武部建設(株)	岩見沢市	0126-22-2202
	(株)橋本川島コーポレーション	旭川市	0166-55-0001		(有)山岸工務店	美幌町	0152-73-6363		(株)東商建設	七飯町	0138-65-1000		(有)ヤスマル設計事務所	岩見沢市	0126-23-4702
	(株)米田組	旭川市	0166-33-2113		(有)丹羽工務店	斜里町	0152-23-2760		(株)黒鳥建設	八雲町	0137-63-3018		(株)木の城たいせつ	栗山町	0123-73-3600
	大野土建(株)	士別市	0165-23-3111		(株)住計画FURUTA	帯広市	0155-35-5181		(有)北の住まい設計社	東川町	0166-82-4556		松原産業(株)	栗山町	0123-72-0143
	柏倉ホーム(株)	士別市	0165-23-2089		(有)水野建設	音更町	0155-31-1003		(株)北の住まい設計社	下川町	01655-4-3314		アイルホーム(株)	札幌市北区	011-737-0014
	(株)北の住まい設計社	東川町	0166-82-4556		(株)橋内建設	上士幌町	01564-2-2252		(株)三五工務店	札幌市北区	011-726-3535		(株)拓友建設(株)	札幌市北区	011-773-2888
	(株)丸昭高橋工務店	下川町	01655-4-3314		紺野建設(株)	清水町	0156-62-2362		(有)奈良建築環境設計室	札幌市北区	011-762-9510		(有)ヒオプラス西條デザイン	札幌市北区	011-774-8599
	(有)山形建設	下川町	01655-4-2721		厚浜木材加工協同組合	浜中町	0153-65-2321		(株)奥野工務店	札幌市白石区	011-861-8754		(株)リヨ・デ・ホーム	札幌市白石区	011-879-2022
					桑野建設(株)	根室市	0153-23-2861		(株)リヨ・デ・ホーム	札幌市白石区	011-879-2022		北の木・設計	札幌市中央区	011-303-6069
					(株)犬飼工務店	中標津町	0153-72-2187		アキラ建築設計事務所	札幌市手稲区	011-694-0779		SVD建築設計事務所	札幌市手稲区	011-688-2527
									(株)石塚工務店	札幌市豊平区	011-851-3478		(株)サンケイ建匠(株)	札幌市西区	011-709-7711
									丸作 吉田建産(株)	札幌市西区	011-641-3136		丸作 吉田建産(株)	札幌市西区	011-641-3136
									(株)やまこく	札幌市西区	011-644-3888		カサシマ建設(株)	札幌市東区	011-792-4388
									(株)協同住建	札幌市東区	011-723-3588		(株)協同住建	札幌市東区	011-723-3588
									北スタイル(株)	石狩市	0133-76-6038		北スタイル(株)	石狩市	0133-76-6038
									辻野建設工業(株)	当別町	0133-23-2408		(株)拓友建設(株)	札幌市東区	011-773-2888
									新栄工建(株)	新篠津村	0126-57-2211		新栄工建(株)	新篠津村	0126-57-2211
									(株)内池建設	室蘭市	0143-55-7785		(株)内池建設	室蘭市	0143-55-7785
									大坪建設(株)	苫小牧市	0144-68-2111		大坪建設(株)	苫小牧市	0144-68-2111
									(株)岡部工務店	苫小牧市	0144-73-1442		(株)岡部工務店	苫小牧市	0144-73-1442
									(株)小金澤組	苫小牧市	0144-34-6277		(株)小金澤組	苫小牧市	0144-34-6277
									建成ホーム(株)	登別市	0143-86-1841		建成ホーム(株)	登別市	0143-86-1841
									小松建設(株)	伊達市	0142-23-2043		小松建設(株)	伊達市	0142-23-2043
									(株)官建設	伊達市	0142-23-3011		(株)官建設	伊達市	0142-23-3011
									須藤建設(株)	伊達市	0142-22-0211		須藤建設(株)	伊達市	0142-22-0211



case. 01

家族とともに豊かに育つ トドマツの家

息子さんがまだ小学生だった2011年、建築家の正田亨さん、智子さんは自邸を新築しました。関東から札幌市に移住してきたご夫妻は「北海道の素材を使いたい」と、建材の多くに道産のトドマツを用いました。さらに、その木肌の美しさを生かすために真壁工法を採用し、壁には道産の石灰や海藻などを自家調合した漆喰を塗りました。

それから7年の歳月が経ち、お子さんとともに成長したトドマツの家の床や柱は、鉛色に染まって艶やかさを増しました。「時間とともに木肌が黄色く変化するのがトドマツの特徴です。四季の中で材が伸縮を繰り返しながら、私たちの暮らしに馴染んできました」と、智子さんは穏やかな笑みを浮かべて話してくれました。



1. 真壁工法で、道産トドマツの柱や梁を現しに。経年変化で黄色味を帯びた材が、温かな表情をたくわえ、家族の暮らしを包み込んでいる
2. 南に設けた庇は、室内に四季の彩りと陽射しを運ぶ。公道側に設置した新棚が程よい目隠しになっている
3. サクラ材のキッチンも地元産にこだわり、当別町の家具工房「旅する木」に特注した
4. トイレの手洗いカウンターには、油分が多くて水に強い道産カラマツの無垢板を採用
5. 床材は、道産トドマツの厚板。季節や温度によって空いたり詰まったりする床板の隙間に、木の呼吸が感じられる



地元の木材を使うことで、環境負荷を減らせます。それは森林を育てることであり、森の適正な管理は、川や海的环境保全にもつながります。地材地消の家づくりは、地域貢献の一助といえるでしょう。そして何よりもトドマツなどの道産素材の風合いは、北海道の景色や気候に一番合っていると思うんです。(正田さん談)

この家で使用した主な道産材と部位

- トドマツ(外壁材、構造材、床材、建具の突板)
- カラマツ(トイレのカウンター)
- サクラ(造作キッチン)

設計/北の木・設計 施工/武部建設(株)



case. 02

暮らしをやさしく包む 道産材のハーモニー

構造にカラマツ、外壁に道南スギ、床にはナラ。アンヌブリとイワオヌブリ、水田を望む地に建つYさんの住まいには、3種類の道産材が使われています。「木をふんだんに使ったマイホームを建てたいと、結婚した時から考え続けていました」と、Yさん。ご夫妻の3年越しの夢を叶えたのは、地材地消の家づくりに積極的に取り組むSUDOホームでした。

北の大地で育まれた材は、住まいとなった後も土地の風土に馴染み、高い耐久性を発揮するといいます。「ほっとするような温かみのある空間を実現できるのも魅力ですね。大工さんの丁寧な仕事で引き出された木肌の美しさも気に入っています。住むほどに愛着が増えていくようです」とYさんが満足そうに話してくれました。



1. 直線的でスタイリッシュな外観に対し、室内はカラマツの梁や柱を現しにし、床をナラの無垢材で仕上げると、温かみのある柔らかな雰囲気。ゆったりと弧を描く土間の曲線に、大工の技が光る
2. ご夫妻お気に入りのニセコの山並みと水田を、絵のように大開口で切りとったリビング
3. 玄関土間の壁には、道南スギを張って仕上げた。材本来の色を生かして、外壁とはまた趣が異なる
4. 対面キッチンの造作カウンターも、床と同じナラ無垢材仕上げ。ラウンド型のテーブルを造作して、空間に柔らかさをプラスした
5. 道南スギとガルバリウム鋼板を用いた外観。道南スギの外壁は、Yさんが今後セルフメンテナンスを行う予定

Yさんの家の床は、道産ナラの無垢材。色の濃淡や節の有無など、一枚一枚に個性があるため、全体の仕上がりイメージしながら材を配置するように心がけています。また、無垢材は湿度の変化に敏感なので、木が自由に動ける余地を適度に残しつつ、糊を使わずに張ります。目立ちませんが、床も大工のこだわりとセンスの見せ所です。
(棟梁・関 誠さん談)



この家で使用した主な道産材と部位

- カラマツ(構造材)
- 道南スギ(外壁材、一部内装材)
- ナラ(1・2階の床材、キッチンカウンターの腰壁)

設計/SUDO設計 施工/SUDOホーム(須藤建設)

家具も家も道産材で 森を感じる住まい

十勝岳連峰の裾野から広がる雄大な丘陵風景が魅力の美瑛町。Tさん夫妻は旅行で何度も訪れるうちに、その美しい自然に魅せられ家づくりを決めました。そして、宿泊先のペンションで使用されていた北の住まい設計社の家具に一目惚れしたのできっかけに、家具も家づくりもすべて同社にお願いすることに。

白樺に囲まれた平屋の住まいは、職人の丁寧な手仕事が窺えるイタヤカエデの造作家具をはじめ、梁には今や希少なエゾマツ、柱と床にニレ、建具にカバなど良質な道産材だけが使われています。「美瑛の丘を眺めながら、北海道で生まれ育った木に囲まれて、この家の暮らしは理想そのもの」とTさん。まるで森の中にいるような清々しさが、室内を包み込んでいます。



この家で使用した主な道産材と部位

- ニレ(柱・床材)
- ナラ(造作デスク)
- エゾマツ(梁)
- イタヤカエデ(家具)
- 道南スギ(外壁・腰板)
- カバ(建具)
- プナ(クローゼット棚板・キッチンカウンター収納)

家具製作 / (株)北の住まい設計社
設計・施工 / (有)北の住まい建築研究社

1. 家具も含め、空間を形づくる木のすべてが道産材。「呼吸する北海道産の木に囲まれて、スローでシンプルな暮らしをしていけたら」と奥さん
2. 家に合わせて家具までもコーディネート。奥さんの希望で、スツールの座面はミナペルホネンの生地で作った

木の家づくりと一緒に知っておきたい 「地材地消」のお話



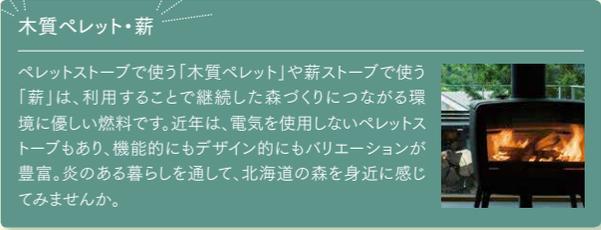
「地材地消」とは、地域で生産された木材や木製品を、その地域で有効利用すること。地域の林業・木材産業が元気になることで、さまざまな経済効果が生まれます。さらには、それによって地域の森林に還元された資金で、森林の手入れを進めることが、北海道の環境の保全につながります。また木材の輸送にかかるエネルギーが少なくなることで、温室効果ガスを削減できます。

私たちが積極的に「地材地消」に取り組めばそれだけ、地域にとっての「いい循環」が生まれます。あなたも道産木材がある暮らしをしませんか？



● こんなところで、地材地消！

道産木材は、家づくり以外にもさまざまなものに使われています。



詳しくは、WEBサイト「地材地消」をご覧ください。 <http://www.woodplaza.or.jp/chizaichisyo/index.html>

森とイエ
森の暮らし、そのを育む

平成29年度「北の木の家」普及推進事業

木工の技ワークショップ 住宅見学会

「木工の技ワークショップ」は、地域で木工技術の継承を図るとともに、
生活の一部として「住まい」の魅力を伝えることを目的として開催する。
参加費は無料です。当日は「住まい」の魅力を伝えるための展示を行います。
また、木工の技を体験するためのワークショップも実施します。
参加の申し込み・お問い合わせ先

2017年9月16日(土) 13:30～15:30

参加無料
定員20名程度
定員超過は抽選

森とイエプロジェクト 地域コンシェルジュ 一般財団法人 平川製本会と有限会社北の木の家 主催
TEL: 011-858-2-2770 FAX: 011-858-2-2771 URL: <http://moritoie.net> 企画: 森とイエプロジェクト

「北の木の家」住宅見学会

北海道では、「北の木の家」を広く普及するため、
道内各地で「北の木の家」住宅見学会や
地材地消などの普及PR活動を
委託事業として実施しています。

平成29年度には「森とイエ プロジェクト」が受託し、
「木工の技ワークショップと住宅見学会」が開催されました。
今後も定期的にこのような催しを企画・実施していく予定です。

「森とイエ プロジェクト」とは

「森とイエ」は、『住まい手 × 建築家 × つくり手』のコラボレーションによる地域に根ざした家づくりを提案するプロジェクトです。北海道で生まれた木材を使い、快適な家づくりのための技術を利用した、地域らしい暮らしを叶える家づくりを提案しています。

「森とイエ プロジェクト」WEBサイト >> <https://moritoie.net>

左/平成29年度「北の木の家」普及推進事業として開催した木工の技ワークショップと住宅見学会のチラシ 右上/電動工具を使って、木工の技を体験 右下/道産材をふんだんに使った住まいを見学

「北の木の家」お問い合わせ

北海道水産林務部林務局 林業木材課 利用推進グループ 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 TEL. 011-204-5492

北海道木材産業協同組合連合会 〒060-0004 札幌市中央区北3条西7丁目5番地1-2 道庁西ビル2F TEL. 011-251-0683 E-mail doumokuren@woodplaza.or.jp